

# 2. 選定地域の構想の概要

## 射水市バイオマス産業都市構想の概要

富山県射水市、人口 約9.5万人、面積 約1.1万ha

### 構想の概要

バイオマス活用の方針である4本の柱「堆肥製造事業」「廃食用油活用推進」「もみ殻の有効利用」「バイオマス教育の推進」の各事業をリンク・融合させて採算性や継続性を確保するとともに、啓発によって市民一体型のバイオマス産業都市の形成を目指す。

### 1. 将来像

- ①バイオマス活用推進体制を維持し、地球にやさしいまちづくり、災害に強いまちづくり
- ②バイオマス事業の技術向上や生産品の品質向上を図りながら、新商品等を開発しビジネスの幅を拡大
- ③複数の事業を関係させることによる継続性の高い事業の創造
- ④バイオマス産業への市民の理解を深め、循環型社会の形成に貢献

### 3. 目標(10年後)

- ①堆肥製造事業 利用総量:5,600t(現在4,710t)
- ②廃食用油活用推進  
廃油使用量:30kL(15kL)、混合燃料:100kL(50kL)、  
混合燃料販売額:9,800千円(4,800千円)
- ③もみ殻の有効利用 もみ殻利用量:1,800t
- ④木質バイオマス発電 間伐材利用:50,000t

### 4. 地域波及効果

- ①二酸化炭素排出量の抑制
  - ・廃食用油利活用:2.492kg-CO<sub>2</sub>/L
  - ・もみ殻の有効活用:3,000kg-CO<sub>2</sub>/t
- ②産業、市場及び雇用の創出
- ③循環型社会の形成
- ④農林水産業をはじめとする地域の活性化

### 2. 事業化プロジェクト

- ①木質バイオマス活用(堆肥製造事業)
  - ・原料調達圏域の拡大
  - ・木質バイオマス発電からの排出灰等を活用した混合肥料、園芸資材化(高度利用検討)
- ②廃食用油活用推進(廃食用油燃料化)
- ③もみ殻の有効利用
  - ・ボイラーによる熱利用、燃焼灰から肥料等(珪酸資材)を製造
- ④木質バイオマス発電
  - ・県内の間伐材等を利用して発電、助燃材としてPKSを使用
  - ・排出される焼成灰の肥料化
- ⑤バイオマス教育の推進

### 5. 実施体制

- ・射水市が主体となり、事業化プロジェクトごとに、富山県立大学などの研究機関や事業者等と連携
- ・ハード事業の取組ごとに成果目標を定め、事業化プロジェクトを評価・検証

### 6. その他

- ・バイオマスタウン構想(H20)
- ・バイオマス活用推進計画(H21)
- ・射水市環境基本計画(H20)
- ・射水市総合計画(H20、H23)

# 射水市バイオマス産業都市イメージ図

森林整備 (富山県)



温熱利用

もみ殻の利用

カントリーエレベーター  
ライスセンター  
熱回収 珪酸資材生産

もみ殻ボイラーシステム



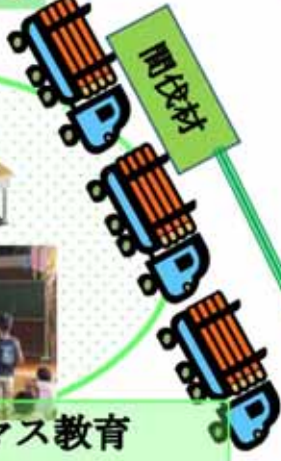
工業資材



混合燃油 (授産事業)



バイオマス教育  
教育ファーム



間伐材



良質米



混合燃油 (授産事業)

再び農地

木質バイオマス発電

間伐材



焼成灰



肥料製造 (造粒)

もみ殻灰・発電焼成灰・  
堆肥造粒

堆肥製造 (既存施設)  
製材残渣・食品加工残渣

堆肥

間伐枝葉